



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

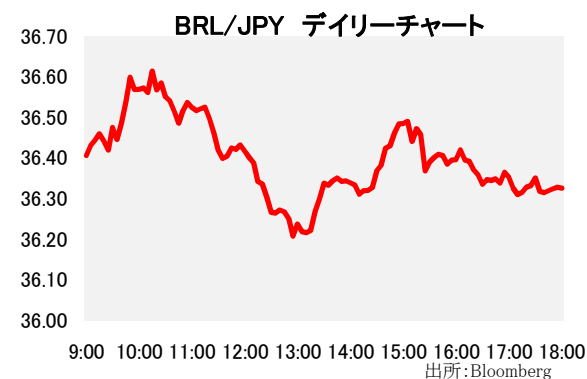
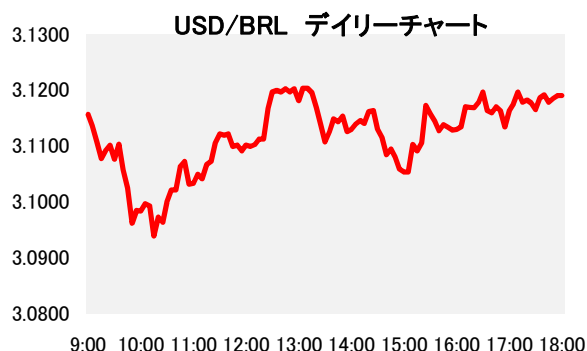
## 1. マーケット・レート

			3月10日	3月13日	3月14日	3月15日	3月16日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1420	3.1530	3.1690	3.1040	3.1190	+0.0150
	BRL/JPY	Spot	36.52	36.44	36.21	36.53	36.33	-0.20
	EUR/USD	Spot	1.0687	1.0653	1.0605	1.0731	1.0763	+0.0032
	USD/JPY	Spot	114.74	114.89	114.77	113.37	113.29	-0.08
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	10.689	10.643	10.657	10.614	10.607	-0.007
	Future	1Year(p.a.)	9.885	9.816	9.849	9.797	9.802	+0.005
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.029	2.011	2.006	2.007	2.062	+0.055
	USD	1Year(p.a.)	2.252	2.229	2.218	2.212	2.207	-0.005
株式	Bovespa指数		64675	65534	64699	66235	65783	-452
CDS	CDS Brazil 5y		232.61	232.69	233.94	219.30	216.85	-2.45
商品	CRB指数		182.649	183.156	182.118	183.795	184.041	+0.25

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.34%	0.35%	0.34%
登録雇用創出合計	26,000	35,612	-40,864
税収	93244m	--	137392m
(米)住宅着工件数	1264k	1288k	1251k
(米)建設許可件数	1268k	1213k	1293k
(米)新規失業保険申請件数	240k	241k	243k
(米)失業保険継続受給者数	2050k	2030k	2060k
(米)フィデリティ連銀景況	30.0	32.8	43.3



## 3. 要人コメント

テメル伯大統領	ブラジルは22か月振りに雇用が増加し、経済回復を示している。
---------	--------------------------------

## 4. トピックス

- 本日のレアルは3.1070で寄り付いた後、昨日に続きドルが対主要通貨で下落する中、レアルは買いが優勢となり、直ぐさま本日の高値となる3.0940を付けた。しかし直後から伯中銀が5億ドル相当のドル売りスワップポジションのロールを発表するとレアルは反落、日中安値となる3.1220を付けた。午後にかけて一時的に3.10台半ばまで買い戻される場面も見られたが、再び3.11台後半へ戻して、結局3.1190でクローズした。
- 2月の米住宅着工件数は4カ月振り高水準に増加したほか、一戸建ての着工件数はほぼ10年振りの高水準となった。
- 尚、ムーディーズは昨晚ブラジルの格付け見通しをネガティブから安定的に変更。景気回復の兆しとインフレ率の鈍化が見られ、財政の先行きがより明確になるとの見方を背景に、マクロ経済環境が安定化しつつあるとの期待が要因である。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。